

# 萩ジオパーク

推進協議会だより vol.136

萩ジオパーク推進協議会

| 2026年6月30日発行 |

〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <https://hagi-geopark.jp>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

📷 @hagi\_geopark



## 風穴日本酒熟成プロジェクトがスタート！

笠山のふもと、越ヶ浜の集落には、夏でも冷たい風が吹き出す「ヒヤシ」と呼ばれる風穴が点在します。火山がつくったごつごつの地形が、電気のいらぬ天然の冷蔵庫になっているのです。萩ジオパークは、この風穴がなぜ冷えるのかという大地の仕組みをお伝えしてきました。その大地の恵みを日本酒の熟成に活かそうと、6月5日、風穴の倉庫に萩の6つの酒蔵の日本酒が運び込まれ、土地の冷たさだけでひと夏ねかせるための初貯蔵式が行われました。13℃の倉庫の涼しさに、蔵元の皆さんからも報道陣からも驚きの声が上がりました。

大地の遺産を守り伝えるだけでなく、土地の理ことわりにかなった暮らしや産業を、この地で実際に形にしていける。それが萩ジオパークの目指す姿であり、風穴の日本酒はその一歩です。6月14日には現場を歩く「笠山ひんやり風穴体感ジオツアー」も開きました（笠山ジオの会と共催）集落のヒヤシから酒の眠る倉庫、巖島神社奥の風穴をめぐる、報道で知った話題を、自分の足で確かめていただきました。



風穴について、「笠山ジオの会」の皆さんが「萩市ジオパーク活動補助金」を活用し、科学調査事業を実施します。

【事業名】 越ヶ浜集落の風穴（ヒヤシ）の科学的調査プロジェクト

【内容】 笠山火山の特徴的な自然現象である「累石型風穴（地元呼称：ヒヤシ）」について、日本酒熟成など現代の産業・暮らしに再び活用するための根拠データを得ることを目的として、温度・湿度の年間変動データを取得し、風穴のメカニズムを科学的に解明する。

【補助金交付額】 200,000円

※当補助金については8月に交付団体を再度募集する予定です。

## 新規採用教員研修

6月9日、毎年恒例の新規採用教員の研修に協力しました。笠山山頂や越ヶ浜のまち歩きで実験や体験を交え、先生方は楽しみながら、足元の大地を授業にどう活かせるかを持ち帰っていました。



## フィールドラボ in 弥富～見慣れた川の生き物調査～

6月10日、弥富地区の新市川で、試験的な「フィールドラボ」を実施しました。これは、弥富地区の置ヶ淵交流事業実行委員会の皆さんと当協議会の事務局の対話の中で出た「川の環境を調べてみたい」という声を受けて実現したものです。

まず、岸から川の流れを観察し、流れの速さから「瀬」や「とろ」に分類。各自がバケツを手に川へ入り、石をそっと持ち上げたり網を入れたりしながら生きものを探しました。水生昆虫や魚など多くの生きものが見つかりました。川からあがった後は、環境ごとに仕分けて種類を記録。きれいな水の目安となる生きものも複数確認されました。参加者からは「子どもの頃を思い出す」という声も聞かれ、身近な自然の豊かさを再発見する機会となりました。

また、この川は、周囲の田畑や集落を通ってきた水が集まる場所であり、弥富の自然と暮らしのつながりを考える入口でもあります。今後は、地域の方々の関心を大切にしながら、こうした取組をジオパークならではの活動としてどう深めていくか、共に考えていきます。



## サロン「だいたい」での講演

5年目となるご縁のサロン「だいたい」でのお話。今地元でちょっと話題の、風穴の日本酒や砂浜の仕組みを、実験を交えてお話ししました。身近なニュースの裏にある大地の仕組みに、皆さん深く聞き入っていました。

## 萩学講座「萩の海産物はなぜ美味しい？」

NPO萩まちじゅう博物館の連続講座の一コマを担当しました。前半の座学では、養分を運ぶ阿武川のはたらきや、阿武火山群が生んだ地形が、よい漁場とよい漁港を生んでいることを実験も交えて紹介。続く探訪では越ヶ浜の集落を歩き、溶岩の地形や漁師町ならではの町並み、荒々しい溶岩の海岸を体感していただきました。



# 学校でジオパーク

## 明倫小学校 海洋ごみ出前授業

萩市立明倫小学校では、以前から4年生の児童が菊ヶ浜の今の様子を調べ、守る方法を考える学習が行われています。その一環として、6月5日、当協議会の堀・白井・伊達で海洋ごみの出前授業にうかがいました。児童のみなさんは、教室に持ち込まれた本物の海洋ごみを前に、当初は匂いのある海藻を「ごみ」、プラスチックごみを「ごみではない」と分別。しかし、海藻が自然界で果たす役割や、立場による価値観の変化を専門員らから学ぶと、今度は生きものの視点からプラスチックを「ごみ」へ、海藻を「ごみではない」へと再分別しました。人間中心の視点から自然の視点へ、萩ジオパークが大事にしている視点の変換を、子どもたちは自らの手と目で体験しました。



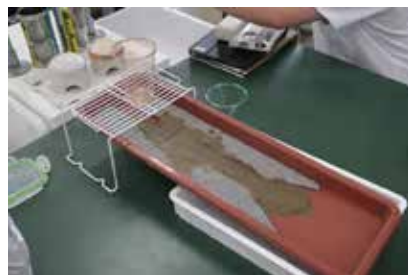
## 見島小中学校 オンライン授業

今年度、新たに探究学習のご依頼をいただき、見島の中学生に1年間伴走することになりました。初回の6月2日はオンラインでつなぎ、見島の火山がつくった大地が、米づくりや漁業、萩焼の土、島の文化のすべての土台になっていることを、一つの相関図で共有しました。今後も生徒さんの探究心に寄り添いながら、一緒に活動させてもらいます。



## 萩光塩学院高校 地学基礎

6月9日、地学基礎を選ぶ3年生に、実験中心の授業を行いました。教科書で習う内容を、堆積実験で地層をつくったりすることで直感的に理解してもらいました。秋吉台や須佐ホルンフェルス、そして萩三角州などの身近な大地の成り立ちを実感できたのではないのでしょうか。



## 白水小学校 探究学習

白水小学校の5～6年生からも、初めてのご依頼をいただきました。川上小学校で藍の探究に取り組んできた先生が白水小へ着任され、「白水でも地域に根ざした探究を」という相談をいただいたのがきっかけです。初回の6月11日は、川の活動と大地の関係を実験で確かめてもらった後、かつて地元で盛んだった“牡蠣殻”を使った暮らしを題材に大地と人のつながりも知ってもらいました。「川や海の生き物の今の状況を調べてみない？牡蠣殻の利用を自分たちでもやってみない？」と問いかけると、「やってみたい！」という声が返ってきました。これからの活動が楽しみです



## 長門峡スケッチ大会（6月10日／阿東3校）

阿東地域の3つの小学校の3～4年生による長門峡でのスケッチ大会の前に、これから描く景色の成り立ちを学んでもらいました。小道具を使ったり現地で川の流れを観察したりして、目の前に景色の背後にある壮大な地球の営みと、人の暮らしとのつながりを知ってもらいました。



## 日本ジオパーク委員会公開プレゼンテーション & 日本ジオパークネットワーク運営会議に参加しました

5月23日、千葉県の幕張メッセで開催された第57回日本ジオパーク委員会（JGC）公開プレゼンテーションに白井専門員が、引き続き行われた日本ジオパークネットワーク（JGN）運営会議に白井専門員と堀事務局長が出席しました。

公開プレゼンテーションでは、鳥海山・飛島ジオパーク（秋田県・山形県）がユネスコ世界ジオパーク国内推薦に向けて、大雪山カムイミントラジオパーク構想（北海道）とやまなし上野原ジオパーク構想（山梨県）が日本ジオパーク認定を目指してプレゼンし、いずれも現地調査（二次審査）へ進むこととなりました。

また、今年度はJGCによって萩ジオパークの再認定審査が行われますが、それに関連し、現地調査員が橋詰潤さん（新潟県立歴史博物館 専門研究員）と柴田伊廣さん（福井県立大学講師）に決定し、JGN運営会議で公表されました。現地調査は、9月の関係書類の提出を経て10月下旬～11月上旬に行われ、再認定審査の結果は来年初めごろに発表される予定です。

この先、新しい一歩を踏み出す各地のジオパークともぜひ交流していきましょう。また、再認定審査を機に萩ジオパークのこれまでを振り返り、大地と暮らしのつながりを見つめ直しつつ、今後を考えていきましょう。

## 7月～8月上旬の予定

※本紙の編集時点で協議会事務局が把握している情報のうち、協議会主催・共催の行事やジオパークの運営・推進に関わる公的な会議・取組、および一般の方々を対象とした行事を中心に掲載しています。

- 日本ジオパークネットワーク第19回通常総会 7月2日（木） 場所：日比谷図書文化館（東京都） 内容：2025年度事業報告・決算、2026年度事業計画・予算等の審議 主催：日本ジオパークネットワーク
- 萩ジオパークフィールドラボ 菊ヶ浜・砂浜ラボ 7月18日（土）18:00～20:00 場所：菊ヶ浜 内容：日没前後の砂浜に裸足で挑み、浜辺の生物を探究 参加：事前申込要（詳細は協議会HP参照） 主催：萩ジオパーク推進協議会 協力：萩ジオツーリズム協会
- 萩ジオパークフィールドラボ 笠山・溶岩ラボ 7月20日（月・祝）8:30～10:30 場所：虎ヶ崎 内容：笠山の磯の海に入り、溶岩にひそむ生物を観察 参加：事前申込要（詳細は協議会HP参照） 主催：萩ジオパーク推進協議会 協力：笠山ジオの会
- 萩ジオパークフィールドラボ 奈古・ウニラボ 7月22日（水）10:00～14:00 場所：道の駅阿武町側の海岸 内容：道の駅阿武町側の海岸でウニなどの生物を調査 参加：事前申込要（詳細は協議会HP参照） 主催：萩ジオパーク推進協議会 協力：福本商店
- 萩ジオパークフィールドラボ 越ヶ浜・風穴ラボ 7月25日（土）9:30～11:30 場所：明神池、巖島神社、風穴など 内容：風穴のメカニズムを確かめ、それを活かした先人のテクニックに迫る 参加：事前申込要（詳細は協議会HP参照） 主催：萩ジオパーク推進協議会 協力：笠山ジオの会